

普及現地情報



発信年月日:令和 8 年(2026年)9月17日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D26008
発 信 者 名:人見、藤原

東近江産ユーカリが京都生花市場でシェア 1 位を獲得しました！

当管内におけるユーカリ栽培は、4 市町・4JA で構成される広域組織「東近江地域枝物研究会」により、現在は栽培面積 182a、生産者 39 名規模に拡大しています。このたび、令和 7 年(2025 年)1 月～12 月の京都生花市場において、東近江地域産ユーカリが取扱シェア 1 位を獲得するという快挙を達成しました。

当課では、令和 2 年からユーカリの栽培推進に本格的に取り組んできました。同研究会を通じ、厳寒期に対応した品種の選定支援、高温期におけるコールドチェーンを活用した出荷技術の提案、ならびに市場との関係構築支援などを行ってきました。

9 月 2 日に開催された研修会では、京都生花市場の担当者から「東近江地域産が本数ベースで約 20%のシェアを占めるまでに成長している」との報告がありました。あわせて、「東近江のユーカリブランドは、すでに京都生花の看板となっている。今後とともに高品質な商品を作っていきたい」との期待が寄せられました。

これに対し、生産者からは「このシェアを活かし、より有利な販売につなげたい」という前向きな意気込みが聞かれた一方で、「資材高騰や相場の不安定さが今後の課題である」との懸念も示されました。産地が持続的に発展していくためには、継続的な支援が重要になります。

今後も当課は関係機関と連携し、安定出荷や品質・ブランド力の向上を通じた産地育成を続けていきます。



座学研修の様子



栽培ほ場の様子